

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「佐久の空が熱い！」バルーンを活用した交流人口創出プロジェクト～「佐久市&北斗の拳コラボバルーン」佐久の空に北斗四兄弟が集結！～

2 地域再生計画の作成主体の名称

佐久市

3 地域再生計画の区域

佐久市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

佐久市は、長野県下4つの平の一つ、佐久平の中央に位置する人口約10万人（平成27年国勢調査）の市であり、市の中央を千曲川が流れ、浅間山、八ヶ岳、蓼科山、荒船山等の雄大な山並みに抱かれた美しい高原都市である。

北陸新幹線、上信越自動車道が東西に走り、首都圏や北陸圏へのアクセスに優れている。また、中部横断自動車道では佐久臼田インターチェンジが整備中であり、完成後は上信越自動車道と中部横断自動車道で合計6つのインターチェンジを市内に有することとなり、高速交通網の結節点、交流圏の拠点として、今後もより一層の発展が期待されている。

観光面においては、ぴんころ地蔵尊や龍岡城五稜郭、平尾山公園、コスモス街道等の様々な観光資源がある。そのほかには、市内で最も集客力のあるイベントであり、「バルーンのまち・佐久」として名を馳せるきっかけとなった毎年5月の連休に開催される佐久バルーンフェスティバルをはじめ、佐久鯉まつり、ヒルクライム佐久大会等の地域の魅力あふれるイベントや行事の開催により交流人口を創出し、地域経済の活性化を図っている。

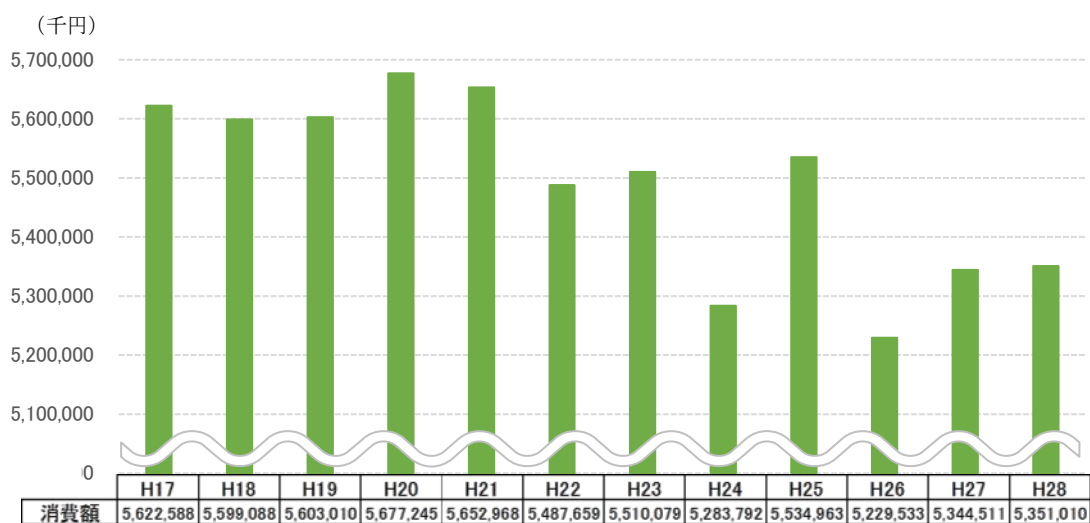
しかしながら、佐久市の観光入込客数は減少傾向にあり、平成28年には約148万人となっている（図表1）。また、観光消費額も、平成26年から平成28年にかけて微増となっているものの、平成20年をピークに同じく減少傾向が続いている（図表2）。

【図表 1】 佐久市の観光入込客数の推移



出典：観光地利用者統計調査（長野県）

【図表 2】 佐久市の観光消費額の推移



出典：観光地利用者統計調査（長野県）

4-2 地域の課題

佐久市の観光入込客数、観光消費額はともに減少傾向にあり、その主な要因として、観光入込客数については、市を鮮明にイメージさせ、他地域と差別化を図ることができるような観光資源が乏しいこと、また、観光消費額については、北陸新幹線等の高速交通網の整備により、宿泊を伴わない日帰り観光客が増加したことが考えられる。

観光入込客数や観光消費額の減少は、市内観光産業ひいては地域経済全体の衰退をもたらす。佐久市観光の現状を打破するためにも、新たな起爆剤として、佐久バルーンフェスティバルをはじめとする注目度が高く集客力があるイベントの集客力をより一層強化し、国内のみならず海外からの来訪者を増やすための仕掛けや、観光客の消費行動を喚起する魅力的な通年型・滞在型観光プログラムの構築が喫緊の課題となっている。

4-3 目標

本格的な少子高齢化・人口減少を迎え、定住人口の大幅な増加が難しくなり、地域活力が低下しつつある時代背景においては、交流人口の創出により新たな活力を創出することが重要である。

本計画は、佐久市出身であり、人気漫画「北斗の拳」の原作者である武論尊氏をはじめとする関係者の協力のもと、「佐久市」と「北斗の拳」のコラボレーション事業を展開し、「北斗の拳」の圧倒的な知名度を生かした魅力ある取組により観光産業の振興を図ることで、さらなる交流人口の創出につなげ、地域経済の活性化を実現することを目標とするものである。

具体的には、「北斗の拳」のキャラクターをデザインした市のPRバルーンを製作し、当市のイベントにおいて最大の観客動員数を誇る佐久バルーンフェスティバル等において、バルーンの体験搭乗や「北斗の拳」にちなむイベントといったコラボバルーンを活用した魅力あふれるソフト事業を実施し、イベントの集客力を強化することにより、バルーンファンの他、漫画や原作者のファンをはじめとする新たな観光客の獲得を図り、さらなる交流人口の創出を目指す。「北斗の拳」は国内外で愛され、35周年を迎えた今でも色褪せることなく日本のポップカルチャーに影響を与え続けており、世界中に多くのファンがいることから、当市の知名度の向上と国内外からの多くの観光客の獲得が期待できる。

また、バルーンの製作を契機として、現在、市内の民間事業者と連携した、「北斗の拳」のキャラクターをラッピングした市内循環バスと市と首都圏を結ぶ高速バスの運行企画も別途進んでいる。当該事業も活用し、コラボバルーンの体験搭乗をはじめとする体験、食、温泉等の地域の魅力をつなぎ合わせ、パッケージ化した新たな通年型・滞在型観光プログラムを併せて展開することにより、観光客数やその滞在時間、宿泊客数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。

【数値目標】

事業	佐久市&北斗の拳コラボバルーン活用事業			
KPI	佐久バルーンフェスティバル観客動員数 (千人/年)	年月	観光消費額(千円/年)	年月
申請時	264	H29.3	5,351,010	H29.3
初年度	300	H31.3	5,361,700	H31.3
2年目	310	H32.3	5,367,000	H32.3
3年目	320	H33.3	5,372,400	H33.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

佐久市出身の漫画原作者である武論尊氏の人気漫画「北斗の拳」のキャラクターをデザインした市のPR用バルーンを製作し、新たなプロモーションツールとして活用することにより市内イベントの集客力の強化を図る。

併せて、コラボバルーンのほか、官民連携により別途製作中であるラッピングバスも活用した新たな通年型・滞在型観光プログラムを構築し、観光客数やその滞在時間、宿泊客数の増加を図る。

また、他のツールにおける「北斗の拳」とのコラボレーションを検討し、観光プログラムに新たに組み込む等、「佐久市」と「北斗の拳」のコラボレーション事業を幅広く展開し、「北斗の拳」の圧倒的な知名度を生かした取組により観光産業の振興を図ることで、交流人口の拡大、地域経済の活性化を目指す。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

(1) 事業名：「佐久の空が熱い！」バルーンを活用した交流人口創出プロジェクト～「佐久市&北斗の拳コラボバルーン」佐久の空に北斗四兄弟が集結！～

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

佐久市では、豊かな自然環境や文化等の観光資源の魅力発信や、市内最大のイベントである佐久バルーンフェスティバルをはじめとする地域資源を活用した多様なイベントや行事の開催により、交流人口を創出し、地域経済の活性化に取り組んできた。しかしながら、市を鮮明にイメージさせ、他地域と差別化を図ることができるような観光資源の乏しさ、高速交通網の整備による宿泊を伴わない日帰り観光客の増加から、観光入込客数、観光消費額はいずれも減少傾向にあり、市内観光産業ひいては地域経済全体の衰退が懸念されている。

本事業は、佐久市観光の現状を打破するため、新たな起爆剤として、当市出身であり、人気漫画「北斗の拳」の原作者である武論尊氏をはじめとする関係者の協力のもと、「佐久市」と「北斗の拳」のコラボレーション事業を展開し、「北斗の拳」の圧倒的な知名度を生かした魅力ある取組により観光産業の振興を図ることで、さらなる交流人口の創出につなげ、地域経済の活性化を実現することを目的とするものである。

(事業の内容)

・佐久市&北斗の拳コラボバルーン活用事業

佐久市が、著作権者等より無償提供を受けた「北斗の拳」に登場するキャラクターのイラストを活用したコラボバルーンの製作を実施する。

バルーン完成後は、佐久市と佐久市観光協会が共同して、5月の連休に開催される佐久バルーンフェスティバル等のイベントや行事においてコラボバルーンを活用した市のPR事業を実施する。併せて、現在運行が予定されているラッピングバスも活用し、コラボバルーンの搭乗体験や市の特産品、温泉その他の観光資源等の体験・食・宿泊をパッケージ化した新たな通年型・滞在型観光プログラムを実施する。

以上の取組により、観光入込客数や観光消費額の増加を図り、地域経済の活性化に繋げる。

→各年度の事業の内容

佐久市&北斗の拳コラボバルーン活用事業

初年度) 著作権者等より無償提供を受けた、「北斗の拳」に登場するキャラクターのイラストを活用し、委託によりアートバルーンのデザインと製作を実施する。併せて、コラボバルーンやラッピングバスを活用した新たな通年型・滞在型観光プログラムを企

画する。

2年目) バルーン完成後、佐久バルーンフェスティバルや市民交流ひろばでのバルーン体験搭乗会のほか、国内4都市で開催される熱気球大会等の市内外で行われる各種イベントや行事において、コラボバルーンを活用した市のPR事業を実施する。初年度において企画した通年型・滞在型観光プログラムを実施する。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「安定して働き続けることができる佐久市における『しごと』の創生」という基本目標のもと、「地域資源を活用した観光・交流の推進」を施策として掲げている。

本事業は、現在も幅広い年齢に支持される人気漫画「北斗の拳」と佐久市のコラボによるバルーンを活用することで期待される交流人口の創出と地域経済の活性化による波及効果により、地域産業の雇用創出力の向上を図るものであり、佐久市総合戦略の数値目標の一つである「市内事業所の従業者数(基準値:40,203人(H26)→目標値:41,100人(H31))」や、具体的な施策である「地域資源を活用した観光・交流の推進」において重要業績評価指標(KPI)としている「観光入込客数(基準値:1,514千人(H26)→目標値:1,900千人(H31))」の達成に直接寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))

事業	佐久市&北斗の拳コラボバルーン活用事業			
KPI	佐久バルーンフェスティバル観客動員数(千人/年)	年月	観光消費額(千円/年)	年月
申請時	264	H29.3	5,351,010	H29.3
初年度	300	H31.3	5,361,700	H31.3
2年目	310	H32.3	5,367,000	H32.3

(6) 事業費

(単位:千円)

佐久市&北斗の拳 コラボバルーン活 用事業	年度	H30	H31	計
	事業費計	11,300	11,000	22,300
区分	委託料	11,300	11,000	22,300

(7) 申請時点での寄附の見込み (単位：千円)

佐久市&北斗の拳コラボバルーン活用事業	H30	H31	計
有限会社プロダクション一家	3,500	—	3,500
株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ	3,500	—	3,500
計	7,000	—	7,000

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

事業のK P I 実績値を公表するとともに、市議会及び外部有識者が参画する佐久市総合計画審議会において事業の結果を検証し、改善点を踏まえ次の事業につなげる。

(評価の時期・内容)

毎年度6月に市議会及び佐久市総合計画審議会において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

(公表の方法)

目標の達成状況は、検証後速やかに佐久市ホームページへ公表する。

(9) 事業期間

平成30年4月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 新たな「佐久市&北斗の拳」コラボレーションプロジェクト

事業概要：現在、コラボバルーンの制作を契機に、市内の民間事業者と連携した「北斗の拳」のラッピングバスの製作も併せて進んでいることから、その他のツールにおける「北斗の拳」との官民連携によるコラボレーションを検討し、体験・食・宿泊をパッケージ化した通年型・滞在型観光

プログラムの中に新たに組み込むことにより、国内のみならず海外も含め、漫画を動機とした観光客を呼び込み、市内への滞在時間の増加、宿泊の拡大、観光消費額の増加の加速を図る。

実施主体：佐久市・佐久市観光協会

事業期間：平成 31 年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業の K P I 実績値を公表するとともに、市議会及び外部有識者が参画する佐久市総合計画審議会において事業の結果を検証し、改善点を踏まえ次の事業につなげる。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度 6 月に市議会及び佐久市総合計画審議会において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況は、検証後速やかに佐久市ホームページへ公表する。